



ショク・カイ・マ

魔界淫食

ふたなり淫魔のいけにえ





くそっ！
離せよ！

あたいが
何したつて
言うんだよ！

離せよっ
このクソジジイ！



…いい加減に
観念しろ

この村に
流れ着いたのが
おまえの運のつき
なんだ



「いけにえ」を
ささげなくちや
ならない
この時期にな…

ザッ

ザッ

モイモイ



……
あの娘は？

おたえとかいう
流れ者のようです
村はずれで
うろついているのを
みつけました

いけにえって
なんだよ？

からかってんのか
デメエー！

……なんと
これも仏の
導きかのお……

あの娘には悪いが
村の大事な子供を
犠牲にせんで
すむとは……

しばくぞー！
コラッ！



この湖に住む
「百蛇ひやくしや」
つて妖怪に……
そうするコトで
村は日照りや
水害から
護られてるんだ



……三年に一度
若い娘を
ささげなくちゃ
ならないんだ











きやああッ

ザッパッ



あたいは村とは
関係ないんだ！
日照りなんか
知ったことか！
ただの流浪の
流れ者なんだ！

はっ…
離せよ！

ま…まさか
こいつか？
百蛇って



攻めが甘いから
こうなるのよ！

おしとやかな娘
ばかりじゃ
ないんだから



特にこんな
元気でおいしそうな
小鳥ちゃんはい



……
あら、そう
でも、
もらったモノは
返せないわね



…まだお手入れの
行き届いていない
未熟な割れ目
こんなに緊張しちゃって
かたくなに
侵入者を拒んでる…

肌に触れれば
分かるわ
ウフツツ…幾度となく
味わってきた
初々しい生娘の味

やつ…
やああつ



こびりついた
まんカスこと
舐め取って私の色に
染めてあげる！

あうっ！

ふああつ

やあああつ！











は…
早く
離しやがれえ…

うぐっ
「…」の
くされま〇「お…

あんっ

あっ

あぐっ

いいわあ…
そういうの
好きよ
かたくなに
強気な態度なのが
とってもあいらしい

ああっ…

あああっ
あがっ

いやらしい
あえぎ声を
あげながらも
必死に拒むトコが

…じゃあ、そろそろ
私もなぐさめて
もらおうかしら





あああんっ
あああああ

舌がちろちろ
刺激してる！
ああんっ
あんっ

あつ…顎が
はずれちゃう！
だ…だめっ
口に力を
入れられない！

ぐぐぐ

おっ…
おまえたちい
はっ…
入って！
早く私のにも！

ぐぐぐ



私のグジュグジュの
おま〇こも奥まで
かき回してエー！

あんっ

ビラビラした膣壁が
延びきつちゃう
ぐらい激しく！

ぐぐぐ

はあん
ああっ

んぐう

ぐぐう

んんっ





うっ…
うげええつ

ねえあああ



げほつ

げほつ
うほつ

やあああん
恥ずかしいわ…
こんなに早く
出しちゃうなんて
キミのお口ま〇こ
やわらかくて
気持ち良過ぎるん
だもの



グイッ

………

待ってて！
次はちゃんと
膣内にたつぷり
注ぎ込んで
あげるからね！



ああっ
あっ

ねえ
ねえ
ねえ

が、我慢汁
だらだらな
この子たちと
いっしょにね！



あんっ

！



いっしょ

そ…そんなの
入ったりしたら
破裂しちゃうう！

うえっ
うええええんっ

やっ……

やめてHH…







あ

ああん

あああん

あん

ぐげえ

ぐがああ

ぐあああ

あああん!
もつともつと
奥まで
突き上げたい!

突き破って
一つにとろけ合う
ぐらい!!





も、もう
このぐちゃぐちゃの
おま〇こは
私のモノよお！



このぶつくり
勃起した
かわいい乳首も！



ああああんっ！
みんな私のモノ！
誰にも
渡さないわあ！



あがあつ

あがあつ

ああんっ

すーいっ

あんっ

モロ
モロ

モロ
モロ

ずんずん

ずんずん

ずんずん

ずんずん

ずんずん

ずんずん



あつ...あと
少しだけえ
我慢してえ!

そこまで
来てるのぉ!

ほんの
少しだけえ!

ああんっ

いきそっ!

ああっ
あつあつ!
す、すぐ
出るからっ
出るからあ!

ああっ
いくついくつ
いっちやうっ!

いっちやうっ!









キミのように
親に見捨てられ
生贄として
ささげられた娘たち

……そうよ



……だから
キミも他の
娘たちのように
私の赤ちゃんを
たくさん
産んでちょうだいね



他の娘たち？



お帰りなさい
百蛇さま！



おうめは
もうあんまり
無理しちゃダメよ
この子たちの
ためにゆっくり
横になつてなさい

たどたど



おすず
この前はごめんね
犯りすぎて
子宮に大穴
開けちゃったわね

たどたど



百蛇さま!
新しく来た
おたえちゃんが!



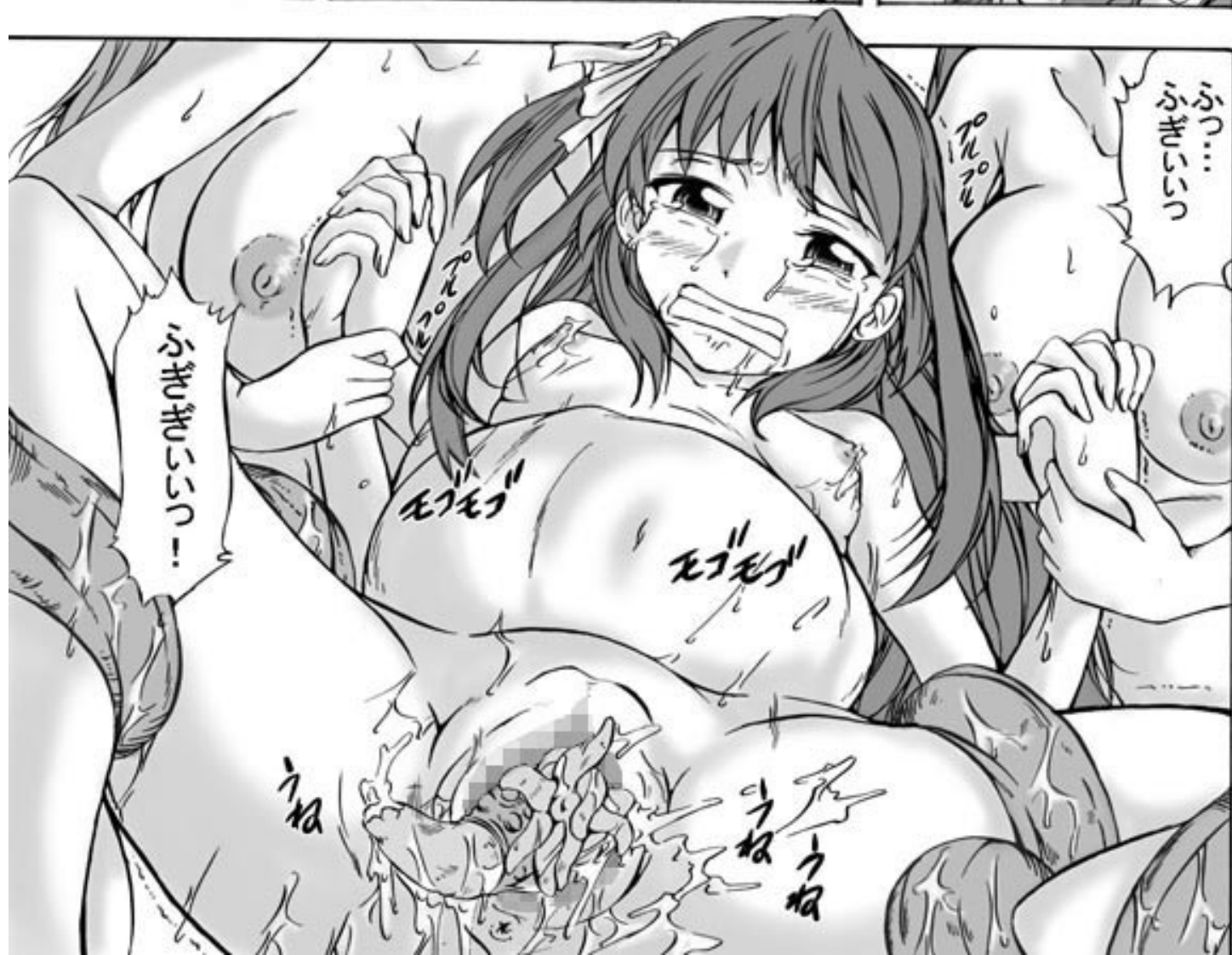
そうだったわ!
あの娘は
今日辺りだった
わね!

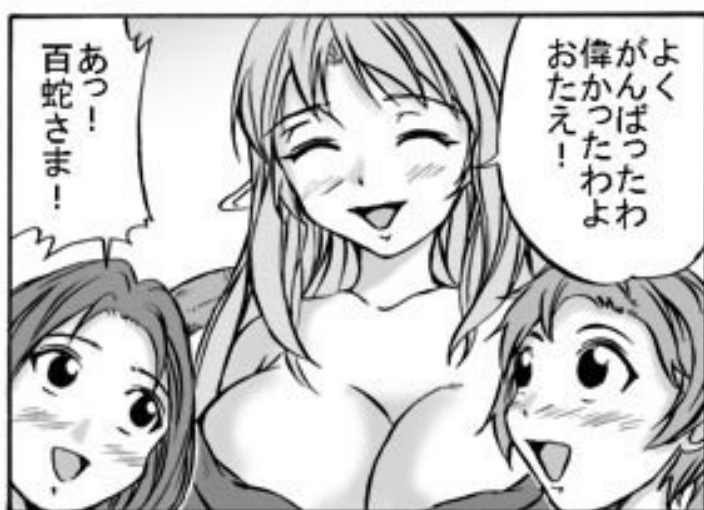


お出迎え
ごくろうさま

みんな、仲良く
いい子にしてた
かしら?









あとがき

このたびは「蝕・懷・魔 ふたなり淫魔のいけにえ」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

今回は日本(明治初期ぐらい?)を舞台にしたお話にしてみました。いまだ妖怪の存在が世に影響力を持っていたらう時代で、人々はそれを恐れながらも必死に生きちよったはずなんです。(江戸時代じゃないのは、ちょんまげをなんとなく描きたくなかったというしょーもない理由ですw)

内容としてはふたなり淫魔さんが無数の触手といっしょに女の子をぐちゅぐちゅ、ぬちよぬちよ、ズプズプ!

「ら、らめええ」と叫ぶ女の子を無理やりボテ腹に…

なのに産む頃には、「好きい、もっと産みたいい」

っと、そんな話を描きたかったのでこうなったしだいですw

(…読めばまんまだから分かるか)

前回の「蝕・懷・魔 シスター魔触受胎」とはなんも話のつながりはないのですが、「触手で孕ませちゃう淫魔さん」は共通なのでタイトルは引き継がせました。まあ、好評なようなら(……そうじゃなくても?)次もこのシリーズを描こうかなと考えとります。

だってねえ、この話の構成って「嫌がって泣き叫ぶ女の子」と「限界知らずでエロスな女の子」の両方をいっぺんに描けるんですもん!

まあ、他にもいくつかやってみたい話は脳内妄想であるので、そっちがまとまりそうならそっちにいっちゃいますが、少なくとも後1, 2作は「蝕・懷・魔」を描けたらなあと思っちゃいます。